

こんにちは

# 会社訪問記

廃棄物処理ニーズにスピーディに対応  
クリーンな仕事を心がけています。

## 有限会社三洋サービス

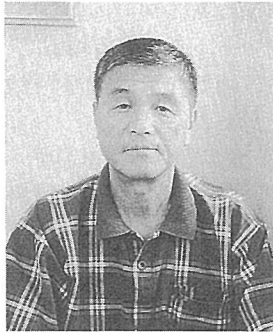
(名古屋市千種区)

収集運搬から中間処理、最終処分場までトータルに廃棄物処理を手掛けられている有限会社三洋サービスにお伺いし、新美實社長と新美三良専務取締役役にお話をさせていただきました。

——かなり以前から、廃棄物処理に携わっておられるということですが。

新美社長（以下社長に略）『創業が昭和39年ですから、かれこれ30年近いですね。』

——この仕事を始められるきっかけは何ですか。社長『創業当時、すでに多くの工場や企業で廃棄物の処理方法が問題となっていました。経済成長期でもあり、これから廃棄物処理ニーズがもっと高まるに違いないと考え、廃棄物処理業に参入したわけです。』



新美 實社長

——現在、主に何を取扱っているのですか。

社長『主に建設廃材、ガラス及び陶磁器くず、そして廃プラスチックなどですね。愛知県全域にわたり廃棄物を引き受けています。』

——仕事を行うにあたり、常に気をつけていることはどんなことですか。

社長『まず、収集時間を必ず守る。クリーンな仕事をする。引き受けた仕事はその日のうちに処理する。つまり“約束”を守ること、これに尽きると思います。』

——中間処理や最終処分も行っているということですが。

社長『はい。破碎施設と最終処分場を保有しています。最終処分場は、できる限り長く利用できるように心掛けています。処分場不足の折、用地取得はさらに困難になりますし。』



社名／有限会社 三洋サービス 所在地／名古屋市千種区仲田一丁目5番20号  
代表者／新美 實 設立／昭和39年 従業員／20名  
TEL／052(711)2395 モットー／『約束を守る』  
保有車輛／20両 重機、その他／4両 事業所／本社、港工場、三好現業所  
営業種別／収集・運搬、中間処分・埋立て処分  
取扱い品目／燃えがら、廃プラスチック、動植物性残さ、金属くず、ガラスくず及び陶磁器くず、建設廃材。

——リサイクルがいま話題となっていますが、これについてどんなご意見を持っていますか。

社長『当社は以前、再生品として“擬木”を開発し、市場に出したことがあるんですよ。おそらく、処理業者として名古屋で初めてリサイクル製品をつくった会社になると思います。製品自体はみなさんからお誉めの言葉を頂きましたが、まだリサイクル製品が利用されるには時期尚早でしたね。採算の問題もあり“擬木”の生産は打ち切ってしまいました。』

——ようやく最近、リサイクルに対する関心が高まりつつありますが。

社長『そうですね。“擬木”についても有効な利用方法が出、ニーズが高まればそのうち再開したいと思います。』

新美専務取締役『リサイクルは、一人ひとりの意識改革、リサイクルに対する配慮がなければ成し得ないと思います。もっと地域ぐるみでリサイクル活動が行われれば、人々の意識も徐々に高まってくるでしょう。私たちとしても、“擬木”のみならず再生可能なものについては、どんどんリサイクルに取り組んでいきたいと考えています。』

盆栽、釣り、書道が趣味という社長。野球のこならまかせてほしいという専務。リサイクルは、一企業だけでなく協会で取り組むなど、大きな組織で行うことが必要とおっしゃるお二人。ますますのご活躍を期待しています。